

2026年ワールドワイドDigi DXコンテスト

開始日:8月29日(土)12:00:00 UTC 終了:8月30日(日)11:59:59 UTC

I. 目的:世界中のアマチュアが、FT4およびFT8モードを使ってできるだけ多くのメイデンヘッドグリッドフィールドで他のアマチュアと連絡を取ること。

II. バンド:6つのバンドのみ:1.8、3.5、7、14、21、28 MHz。

A. FT4推奨サブバンド:

1.840-1.8443.580-3.5897.080-7.08914.080-14.089***21.080-21.08928.080-28.089

ラジオダイヤルをサブバンドの下部に設定し、通常2.5~4kHz幅のラジオパスバンド内のオーディオ周波数で作業します。サブバンドが混雑した場合は、必要に応じてラジオダイヤルの周波数を3kHzずつ上げます。(例:7.080、7.083、7.086)

14.080 MHzは標準的な「日常」FT4 20メートル周波数であることにご注意ください。非コンテスト局との混同を避けるために、14.083 MHzを使う方が良い場合があります。

B. FT8推奨サブバンド:

1.844-1.8483.590-3.5997.090-7.09914.09921.09921.090-21.09928.090-28.0999

ラジオダイヤルをサブバンドの下部に設定し、通常2.5~4kHz幅のラジオパスバンド内のオーディオ周波数で作業します。サブバンドが混雑した場合は、必要に応じてラジオダイヤルの周波数を3kHzずつ上げます。(例:7.090、7.093、7.096)

80メートルのC. JAサブバンド:

FT4: 3.570

FT8: 3.573

III. コンテスト交換:4文字グリッドマス。

IV. スコアリング:

A. スコア:最終スコアは、すべてのバンドにわたるQSOポイントの合計に、すべてのバンドにわたる2文字グリッドフィールドの合計を掛けたものです。例:1000 QSOポイント * (70グリッドフィールド) = 70,000(最終スコア)。

B. QSOポイント:QSOはFT4またはFT8のバンドごとに1回のみスコアされます。QSOは、QSOパートナーのグリッドスクエア中心間の3000kmごとに1ポイント加1ポイントです。(例:5541 km = 2ポイント)。実際の信号経路に関係なく、短経路距離が使用されます。

C. 乗算器:各バンドで接触した異なる2文字グリッドフィールドごとに1(1)倍率。

V. エントリーカテゴリー:

A. 単一オペレーターカテゴリー:オペレーターは一人ですべての操作およびログ機能を行います。バンド変更に制限はありません。あらゆる種類のQSO検索支援が許可されています。

1. シングル送信機(SINGLE-ON): 1バンドで同時に1つの信号のみを送信が許可されます。

a. 高出力(オールバンドまたはシングルバンド):総出力は1500ワットを超えてはなりません。

b. 低出力(オールバンドまたはシングルバンド):総出力は100ワットを超えてはなりません。

c. QRP(オールバンドまたはシングルバンド):総出力は5ワットを超えてはなりません。

2. マルチトランスミッター(シングル・アンリミテッド): 全帯域のみ運用。6つのコンテストバンドを同時に起動可能です。

a. 高出力:任意のバンドで合計出力が**1500ワット**を超えてはなりません。

b. 低出力:いかなるバンドでも総出力が**100ワット**を超えてはなりません。

c. QRP:任意のバンドで合計出力が**5ワット**を超えてはならない。

B. マルチオペレーターカテゴリー(全帯域動作のみ):任意の数のオペレーターが許可されています。

1. シングル送信機(MULTI-ON):1バンドで1つの信号を同時に送信できるのは1つだけです。送信信号はクロック時間あたり最大8回のバンド変更が可能です(00分から59分まで)。

a. 高出力:任意のバンドで合計出力が**1500ワット**を超えてはなりません。

b. 低出力:いかなるバンドでも総出力が**100ワット**を超えてはなりません。

2. 2つの送信機(マルチツー:2つの異なるバンドで最大2つの送信信号を同時に使用可能です)。ログには、各QSOに送信された信号が記載されなければなりません。送信信号は、任意のクロック時間(00分から59分)で最大8回のバンド変更が可能です。任意のバンドで、総出力出力は**1500ワット**を超えてはなりません。

3. マルチ送信機(MULTI-UNLIMITED):6つのコンテストバンドを同時に起動できます。任意の バンドで合計出力出力が1500ワットを超えてはなりません。

C. チェックログ:ログチェックの補助として提出されるエントリー。結果にスコアは記載されず、ログは公開されません。

VI. 受賞:シングルバンドのログはシングルバンドのアワードのみの対象となります。複数のバンドを含むログは、シングルバンドエントリーとして指定されていない限り、全バンドエントリーとして審査されます。

A. 証明書:電子証明書は、ログ締切までに応募したすべての人にダウンロード可能となります。

B. プラーク:プラークは複数のカテゴリーでトップパフォーマンスを達成した者に対して授与されます。<www-digi.com/plaques.htm>で現在のプラークとスポンサーのリストをご覧ください。応募ごとに1つのプラークのみが授与されます。プラークを獲得した局はサブエリア賞の対象にはなりません。プラークはそのサブエリアの準優勝者に授与されます。

VII. クラブ競技:クラブスコアは会員が提出したログの合計スコアです。クラブ競技には2つの別々のカテゴリーがあります。

A. USAクラブ:参加はクラブエリアの中心から半径250マイル以内に居住する会員に限定されています。

B. DXクラブ:参加は、クラブが所在するDXCCエンティティ内に居住するか、またはクラブエリアの中心から半径400km圏内に居住する会員に限定されます(ただし、クラブエリア内に居住する会員がコンテストのために特別に組織した遠征は除きます)。

C. 一般的なクラブルール:

- 一. 全国組織(例:JARL、REF、DARCなど)はクラブ大会の参加資格がありません。
- 二. 単一オペレーターのエントリーは1つのクラブにのみ貢献できます。マルチオペレーターのスコアは、運営に参加するクラブメンバー数の割合で複数のクラブに割り当てられることがあります。ログエントリーにはクラブ名の全て(および複数オペレーターの場合はクラブ割り当て)を記載しなければなりません。
- 三. クラブが結果に記載されるためには最低4本のログが届く必要があります。チェックログの記録はクラブスコアにはカウントされません。
- 四. 「居住」という言葉は、法的目的において、個人の固定的かつ恒久的かつ主要な居住地として、恒久的または継続的に居住または居住することと定義される。
- 五. 資格のあるクラブメンバーは、DXpeditionのスコアを所属団体のクラブエントリーに寄付することができます。

VIII. 用語の定義:

1. 局の位置:すべての送信機、受信機、アンテナが設置されているエリア。すべての送信機と受信機は直径500メートルの円内に設置されなければなりません。アンテナはRF伝送線で送信機と受信機に物理的に接続されなければなりません。

2. グリッドフィールド:メイデンヘッドの位置測定システムの最初の2文字。各文字はAからRまでの文字で、合計324のグリッドフィールドで世界を定義します。これらは各帯の乗算に使われます。

3. グリッドマス:メイデンヘッドの位置測定システムの最初の4文字。最初の2文字は上記のフィールドです。2文字はそれぞれ0から9までの数字で、合計32,400個のグリッドマスで世界を定義します。これらは交換やQSOポイントの決定に使われます。

IX. 全参加者への一般ルール:

1. 応募者は、提出したスコアに影響を与える可能性のある活動を行う際、選択したカテゴリの範囲内で行動しなければなりません。

2. 各エントリーごとに異なるコールサインを使用する必要があります。エントリーのスコアを補うために使用できるのはエントリーのコールサインのみです。

3. 任意のバンドで選択した入力カテゴリの総出力電力制限を超えないこと。任意のバンドの総出力電力は、アクティブアンプの出力で測定される。

4. 自己確認や発見を求めることは禁止されています。

5. すべての送信機、受信機、アンテナの物理的な位置が局の所在地にある場合、遠隔操作が許可されます。遠隔操作局は、すべての局の免許、運用者免許、およびカテゴリ制限を遵守しなければなりません。使用されるコールサインは、局所在地の規制当局によって発行または許可されたものでなければなりません。

6. 局外のリモート受信機の使用は許可されていません。

7. バンド内で2つ以上の周波数で交互にCQを行うことは許可されていません。

8. 連絡の依頼、通話応答、コールサインのコピー、コンテスト交換は、コンテスト期間中にコンテストのモードと周波数を使用して行う必要があります。

9. コンテスト後に記録されたコールサインややり取りの修正は、データベース、録音、メール、その他の方法によるものではありません。

10. 記録されるコールサインは、QSO中に参加者同士が無線で交換したものと同一でなければなりません。

11. FT4およびFT8モードのみが許可されています。

12. 各QSOパートナーに通話を開始するのは人間のオペレーターでなければなりません。この動作をエミュレートする自律システムやロボットは禁止されています。

X. LOG指示:すべての参加者に**電子ログの提出**が必要です。

1. ログには各交信について以下の記載が必ず求められます:UTCの正確な日付と時刻、周波数(または帯域)、作業した局のコールサイン、送信済みの交換、受信した交換。必要な情報がすべて残っていないログは、チェックログに再分類されることがあります。連絡は完了時に記録されるべきです。ワールドおよびコンチネント賞を競う局は、ログ内のすべての接触に対して正確な周波数を提供しなければなりません。

2. シングルバンドの参加者は、他のバンドであってもコンテスト期間中に行われたすべての接触を含める必要があります。Cabrilloヘッダーで指定されたバンドで行われた接触のみがスコアリングの対象となります。1つのバンドのみの接触記録はシングルバンドエントリーとして分類されます。

3. CABRILLOファイル形式はログの標準です。CABRILLOファイルヘッダーの記入に関する詳細な手順は、<ww-digi.com/cabrillo.htm>を参照してください。ヘッダーを正しく記入しない場合、エントリーが誤ったカテゴリに分類されたり、チェックログに再分類されたりする可能性があります。注:アメリカおよびカナダの局はCABRILLOヘッダーで運行場所を指定しなければなりません(例:LOCATION: OH);他の局は「DX」(例:LOCATION: DX)を示します。

ログソフトがCabrilloファイルをエクスポートできない場合は、<ww-digi.com/adif/>のADIFコンバーターを使ってADIFログをCabrilloに変換してください。

4. ウェブアップロードはログ提出の必須方法です。ウェブアップロードは<ww-digi.com/logcheck/>で利用可能です。

5. 非CABRILLO電子ログの手順:CABRILLO形式のログを提出できない場合は、別の形式の提出を依頼するためにコンテストディレクターにお問い合わせください。

6. エントリー確認:受領したすべてのログはメールで確認されます。受領したログの一覧は<ww-digi.com/logs_received.htm>でご覧いただけます。

7. ログの取り下げ:参加者はログ締切から30日以内に、いかなる理由でも提出したログを撤回することができます。指示はコンテストディレクターにお問い合わせください。

XI. LOG締め切り:

1. すべての応募はコンテスト終了後48時間以内に送付しなければなりません。遅くとも2026年9月1日23時59分UTCまでに。締め切り後に再提出すると、遅延ログとして扱われます。

2. 延長は<questions@ww-digi.com>宛にメールで申請できます。申請には正当な理由が記載され、ログ締切前に受理されなければなりません。延長はコンテストディレクターの確認がなければ認められません。

3. 締切後に提出されたログは結果に記載されることがありますが、賞の対象にはなりません。

XII. 審査:WW Digi DXコンテスト委員会は、コンテストの審査と審査を担当します。参加者はルールと良好なアマチュア無線の実践を守ることが求められます。コンテストのルール違反やスポーツマンライクな行為は、委員会による懲戒処分につながる可能性があります。

A. スポーツマンライクでない行為:スポーツマンライクでない行為の例には以下が含まれますが、これらに限定されません。

1. コンテスト中またはその後、電話、インターネット、インスタントメッセージ、チャットルーム、VoIP、メール、ソーシャルメディア、ウェブサイトなど、いかなる非アマチュア無線手段を用いて連絡の手配または確認を行う

2. エントリー者がライセンス制限外の周波数で送信した場合。

3. バンドチェンジルールに合わせてログの時間を変更すること。

4. 過剰な検証不能なQSOや検証不能な乗数の手柄を主張すること。

5. 他の局の運用に支障をきたす劣悪な信号品質。これには、過剰な帯域幅(例:スプラッター、カチッ、IMD)、他の帯域の高倍音、過剰な音声レベルなどが含まれますが、これらに限定されません。

B. 懲戒処分:違反があった場合、参加者は委員会の裁量により失格の対象となります。

1. 失格の応募者は発表結果の末尾に記載され、賞の対象外となります。

2. 委員会の行動通知は、ログ提出時に指定された住所にメールで送付されます。参加者は5日間でコンテストディレクターに決定を異議申し立てできます。その期間を過ぎると決定は最終決定となります。

3. 委員会は、ログやその他の情報の調査に基づき、いかなる記録のカテゴリーを変更する権利を留保します。

C. ログチェック:すべてのログはカスタムソフトウェアと人間の判断でチェックされます。

1. 重複した接触は追加のペナルティなしで削除されます。

2. 誤受信された交換の連絡先は追加のペナルティなしで削除されます。

3. コールサインエラー(バスト)や他のログにないコールサイン(NIL)は削除され、その連絡に対してQSOポイントのペナルティが課されます。

4. マルチオペレーターエントリーのバンド変更ルールを満たさない接触は、追加のペナルティなしで削除されます。

XIII. 宣言:WW Digi DXコンテストのログを提出し、そのログを審査・評価するために委員会が尽力したことを考慮して、参加者は無条件かつ不可逆的に以下に同意します:1) コンテストのルールを読み理解し、それに従うことに同意した、2) 局所在地におけるアマチュア無線に関するすべての規則と規制に従って運営したこと、3) ログエントリーを一般公開することに同意したこと、4) 委員会による失格通知やその他の決定の発行が公式かつ最終的なものであることを認めることを認めます。参加者が上記のすべてに同意する意思がない、または同意できない場合は、応募者を投稿せず、単にチェックログとしてのみ提出すべきです。

WWデジDXコンテストのルールに関する質問は、<questions@ww-digi.com>までメールで提出できます。よくある質問の回答は<ww-digi.com/rules_faq>でご覧いただけます。